

ファンクションポイントはどう使える？

2020年3月

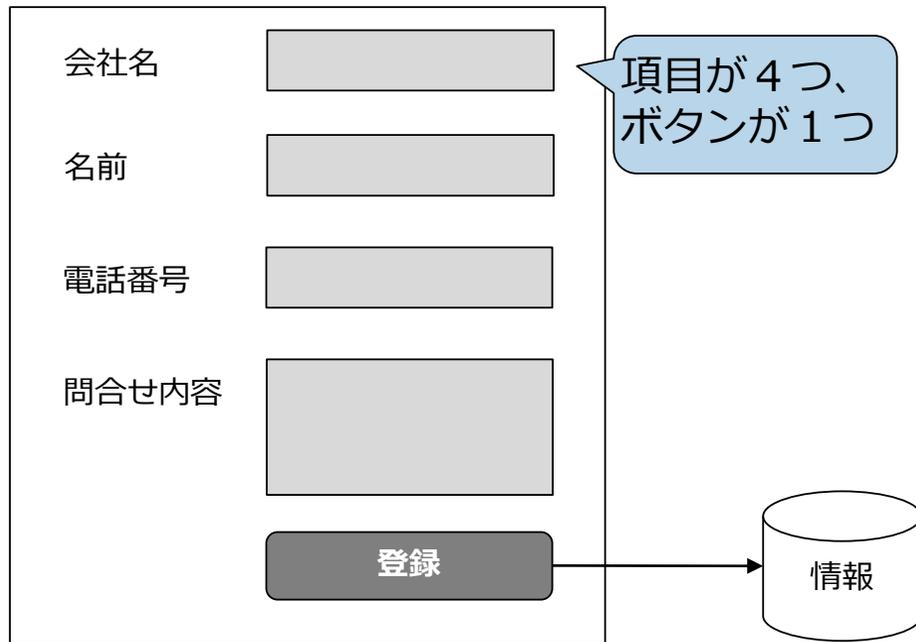
日本ファンクションポイントユーザ会



1. ファンクションポイントの概要と特徴

ファンクションポイントは、ソフトウェアの機能の大きさを表す指標で、**誰が計測しても同じ値になる**という特徴があります。

●例 Webサイトの問合せ画面



特徴① 誰が計測しても同じ値

→「項目4つ、ボタン1つ」という回答は全員同じ。
「この画面はいくら？」という質問に対しては、「50万円」「100万円」等回答が割れる。

特徴② 作り方に依存しない

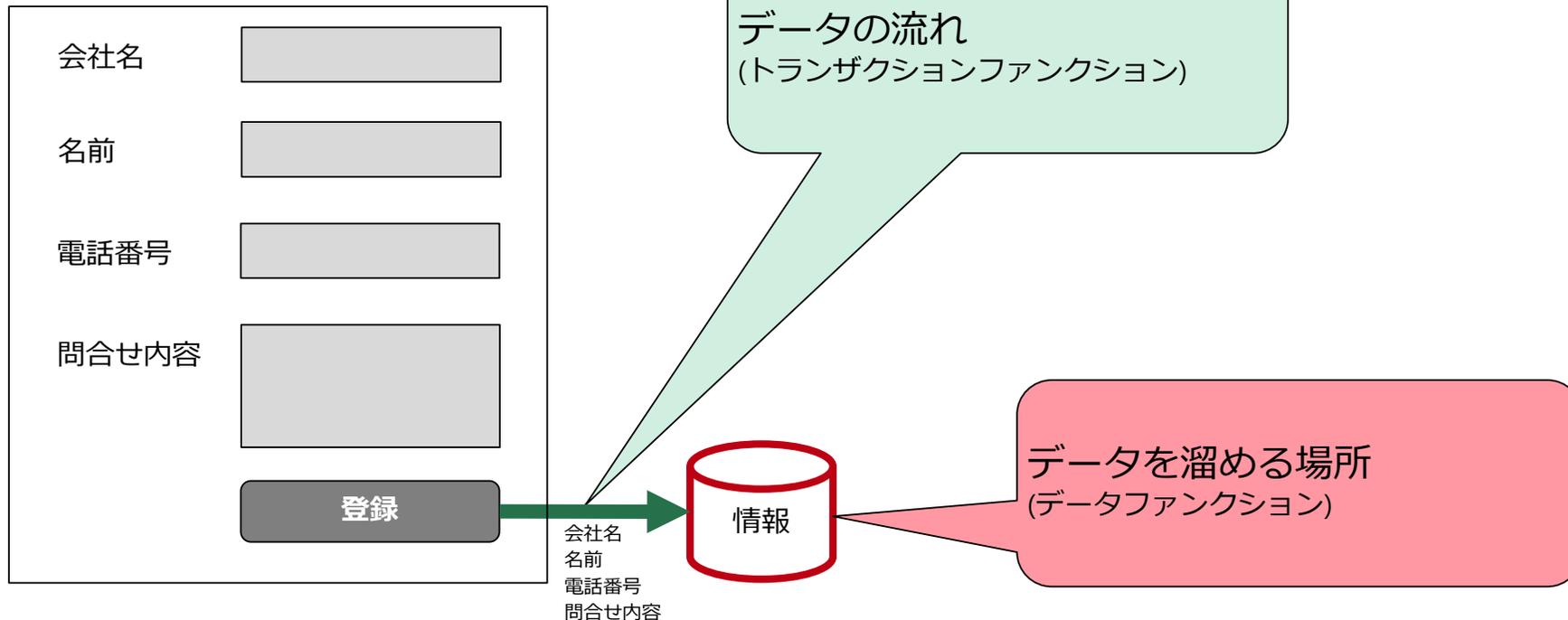
→オンプレでも クラウドでも同じ値、
スクラッチでも パッケージでも同じ値、
ウォーターフォールでも アジャイルでも同じ値、
どの言語で作っても同じ値になる。

1. ファンクションポイントの概要と特徴

ファンクションポイントの大きさは、データの流れと

データを溜める場所の2種類によって表現します。

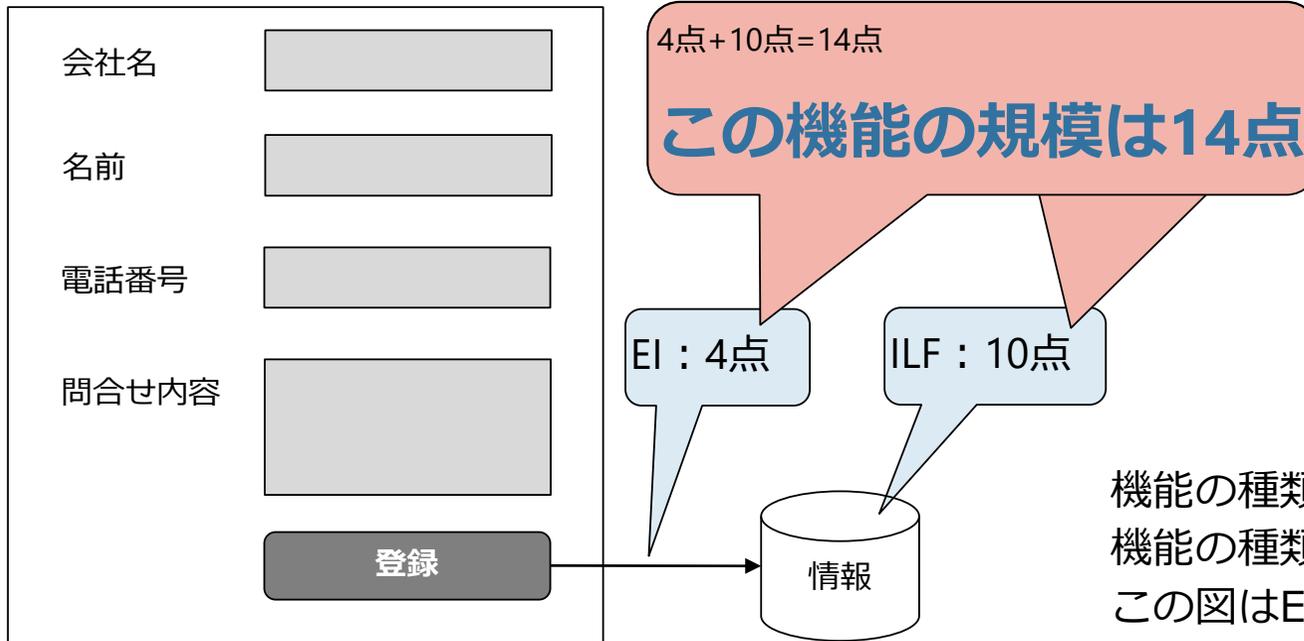
●例 Webサイトの問合せ画面



1. ファンクションポイントの概要と特徴

機能ごとに点数が定められており、その点数を合計することでソフトウェアの規模を定量化します。

●例 Webサイトの問合せ画面



点数表 (複雑度 : 中の場合)

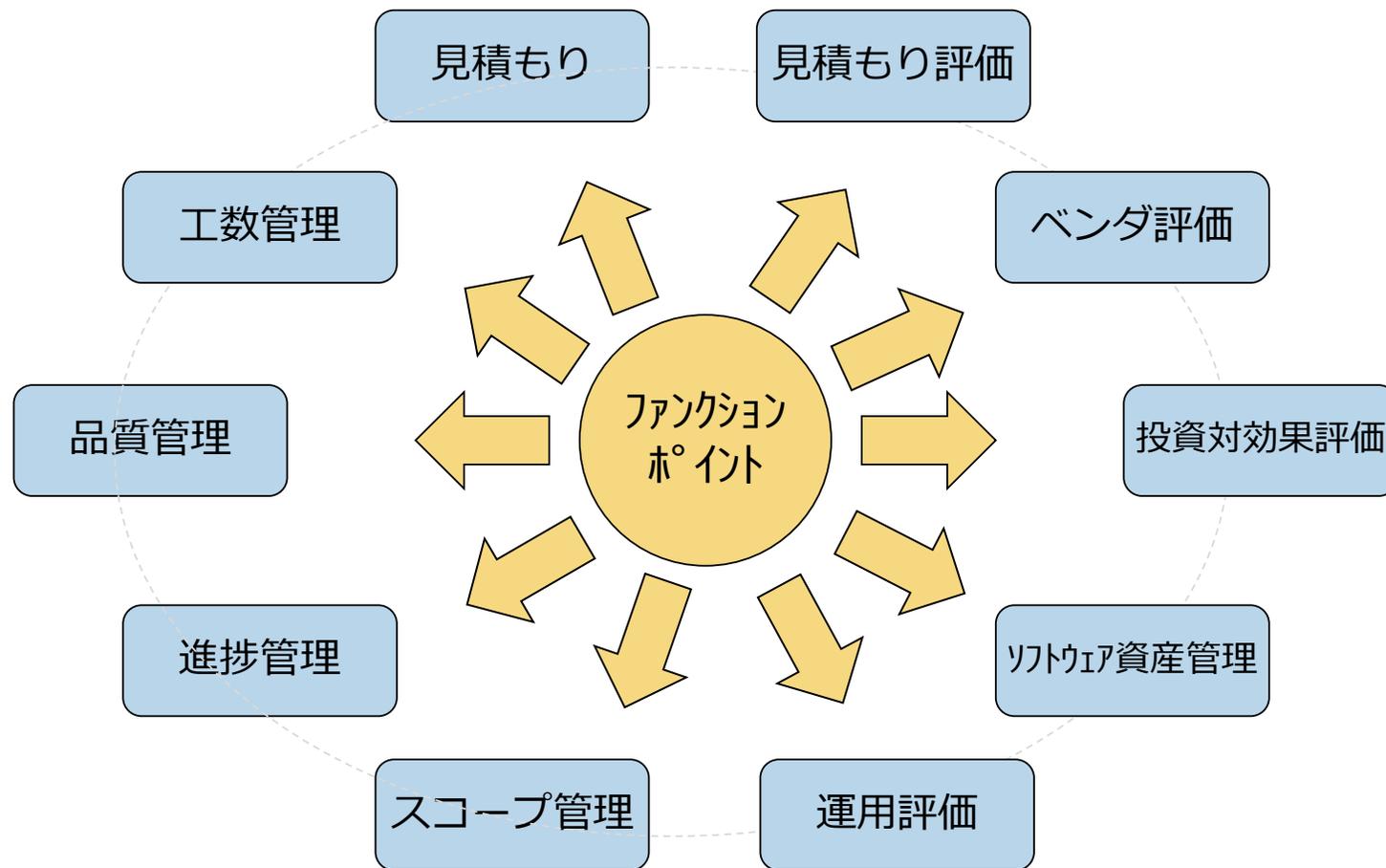
区分	ファンクション種類	点数
データを溜める場所 (データファンクション)	ILF	10
	EIF	7
データの流れ (トランザクションファンクション)	EI	4
	EO	5
	EQ	4

機能の種類により、点数が決まっています。機能の種類の決め方は割愛しますが、この図はEIとILFが1つずつなので、点数表に当てはめ「4点+10点=14点」です。

2. ファンクションポイントの活用方法

プロジェクトをより良くするための事柄に使えます。

主にベンダの領域

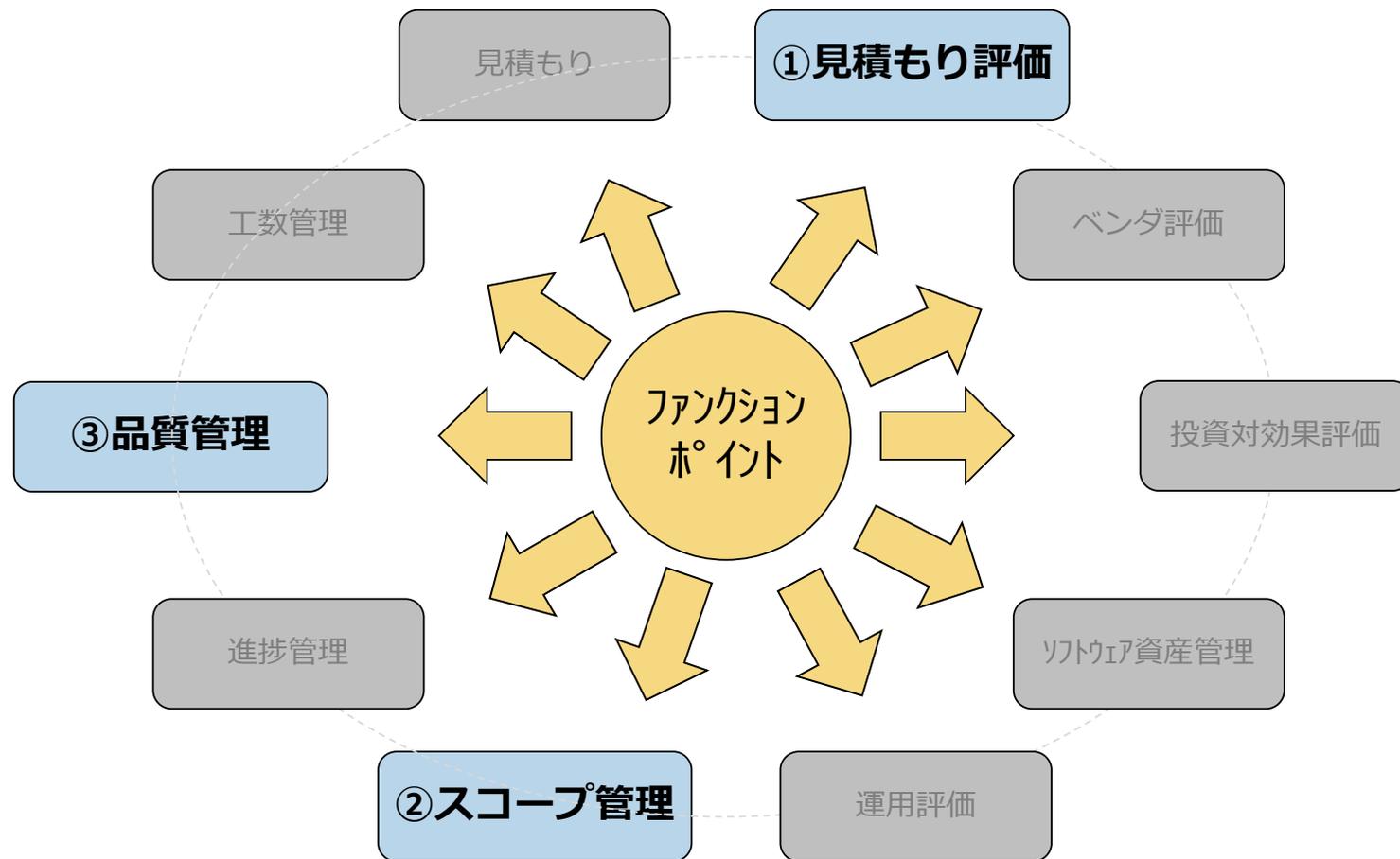


主にユーザの領域

2. ファンクションポイントの活用方法

例として、3つの活用方法をみていきましょう。

主にベンダの領域

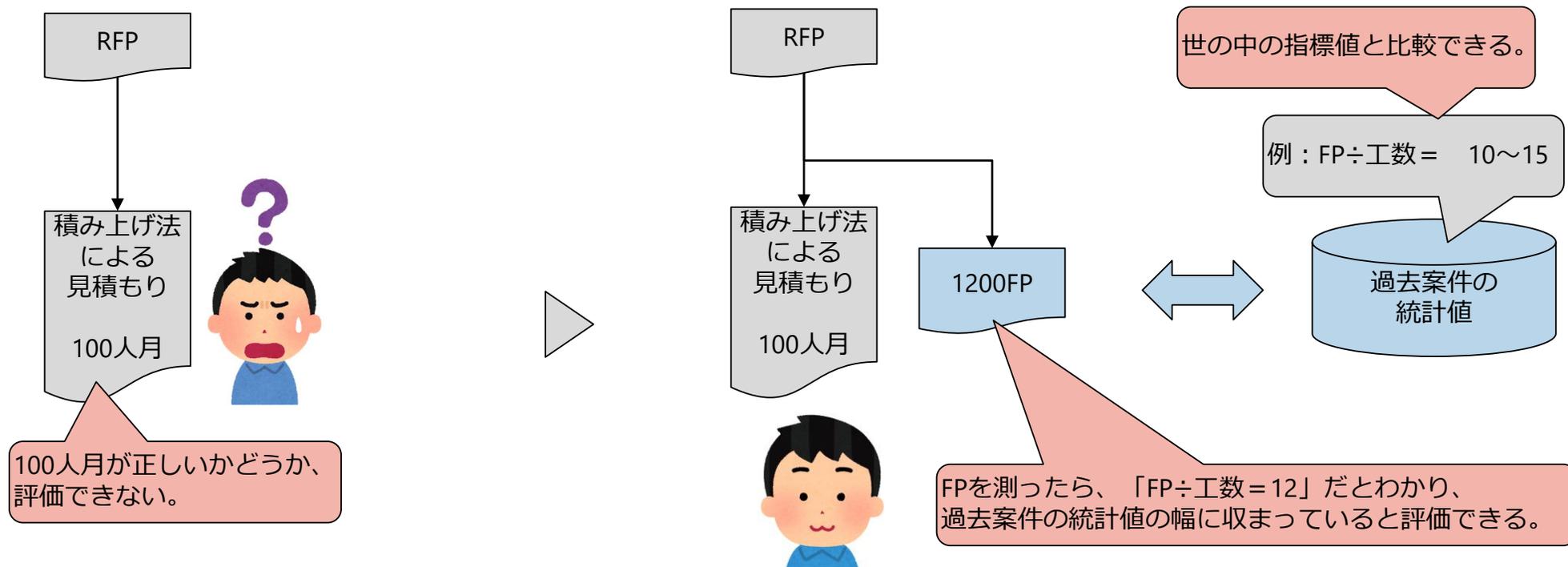


主にユーザの領域

3. 見積もり評価

誰でもソフトウェアの見積もりを評価

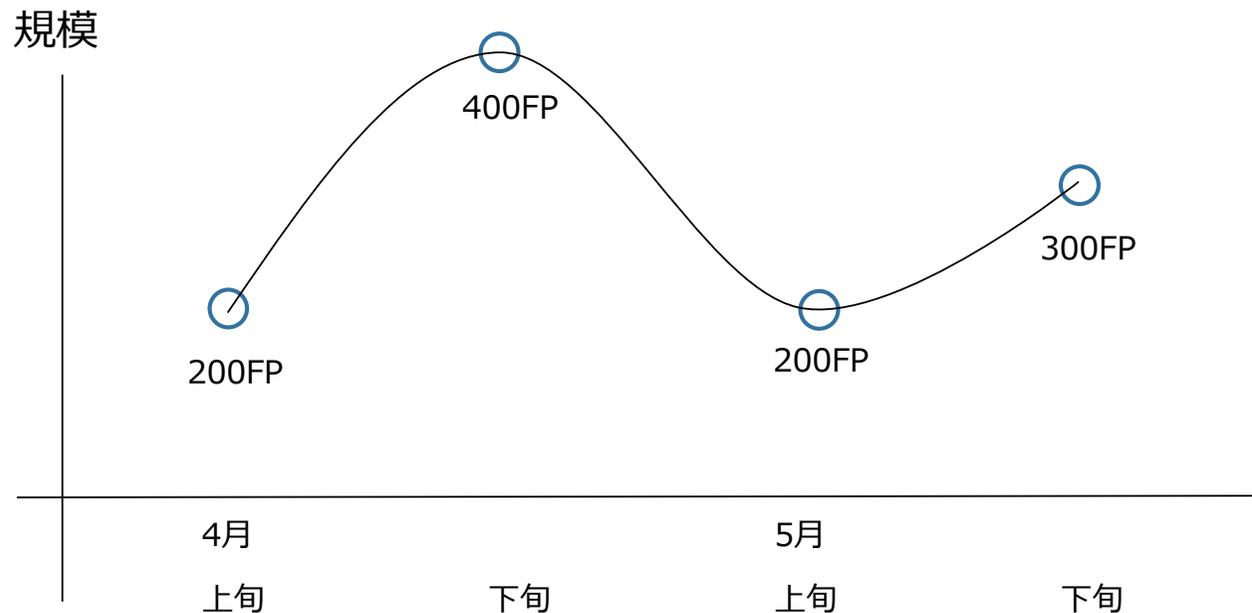
できます。
同じ捉え方により根拠が見える化され、妥当性が判断しやすくなります。



関係者間の見積もり合意形成の根拠に使用することができます。

要件の変動を可視化し共有 することができます。

上流工程では、対象とするソフトウェアが変化することがよくあります。
変動を可視化することで、関係者間で状況の変化を共有することができます。



FP数が変わることで、**要件が変動したことを把握し、変動量を可視化**できます。

品質評価の目標値を決めることができます。



品質評価 目標密度

(FPによる目標密度設定例)

- (1) バグ密度 xx件 / FP
- (2) テスト密度 xx項目/ FP
- (3) レビュー密度 xx時間/ FP

統計値

目標バグ検出数 xx～xx件
目安テスト件数 xx～xx件
目安レビュー時間 xx～xx時間

定量的品質管理ができます。

6. まとめ

これまでの説明を要約すると、以下のとおりです。

概要と特徴

- ①ソフトウェアの機能の大きさを表す指標である
- ②誰が計測しても同じ値になる特徴がある
- ③データの流れとデータを溜める場所の2種類によって大きさを表現する

活用方法の例

- ①ソフトウェアの見積もりを評価できる
- ②要件の変動を可視化し共有できる
- ③品質評価の目標値を決めることができる

ファンクションポイントを、
是非ご活用ください。

JFPUGは、FPのみならず ソフトウェアメトリクス に関する 様々な活動の場 を提供しています。

●活動例

教育コース

ファンクションポイント計測法を勉強

入会申し込み、
お待ちしております。

定例会合

年4回、今ホットな話題の講演あり

[\(リンク\)](#)

作業部会

研究会や委員会で情報交換

語らいのタベ

ライトに参加し様々なIT談義・人脈形成

国際資格試験

CFPS資格取得でスペシャリストに



日本ファンクションポイントユーザ会について

本会は、1994年3月に設立以来、我が国を代表するソフトウェアメトリクスの団体としてファンクションポイント法の普及やソフトウェア定量化手法の利用技術の確立に努めてまいりました。「ソフトウェア定量化の推進を通じてソフトウェア市場の発展に貢献する」という本会のミッションに基づき、「見積り精度の向上」、「品質の向上」、「開発期間の短縮と生産性の向上」、「リスクの低減」、「受発注の適正化」、「利用者の満足度向上」といった課題について様々な活動を展開しております。